

ありたい姿

- 住みたくなる、住み続けられるまち 川口地区 ~今ある資源、特色を活かして~
- 自然と共生し、大人から子どもまで関わりあえる街 川口



ありたい姿を実現するために必要なこと

2グループで共通してあげられた意見

○「地域主体」& すぐに見える

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所でのあいさつ
		自治会、町会への積極的な参加を求める
	大学、学生	町会・地域活動に若者(大学生・高校生)のアルバイトとして参加してもらう
	情報(発信、共有、デジタル化)	地域での情報共有、SNSの活用
		PR方法の検討、紙より人のおしゃべりで
	交流の場	公園でラジオ体操、笑いヨガ、お祭りやイベントでの交流、JAでの野菜販売等
お茶のみ、話しができる場所作り、子ども食堂		
地域寺小屋、子どもが地域の人に勉強や運動、遊びをおしえてもらう		
2	見守り・支え合い	地域での見守り隊をつくる(一人親家庭、老々世帯、一人暮らし高齢者)

○「地域主体」& 時間がかかる

都市像	分野	必要なこと

○「協働」& すぐに見える

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会活動の見直し、人が集まれる仕組み、人があつまれる町会(サロン)作り
		地域と学校との連携活動。そのための情報共有や広報活動
	行政運営	担当所管と定期的意見交換(情報の共有化)
3	スポーツ・文化・生涯学習	放課後子ども教室の充実 ボランティアの人が学校の空き教室で宿題をみてるシステム
	学校・教育	中・高・大学生などが市長や市議会議員へ直接意見を伝えられる機会をつくる 小・中は授業内で話し合う時間をもつ
4	都市計画・居住環境	空き家活用の利用と空き家情報
		空家・遊休農地を再利用し易い環境を作る
5	産業振興	地域資源(観光・自然・野菜etc)をアピールしていく場所の整備

○「協働」& 時間がかかる

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	資源を最大限活用する(高齢者あんしん相談センター、学校等)
	交流の場	大きな公園が出来る予定なのでそこの交流
2	見守り・支え合い	助け合いのしくみづくり、ネットでマッチング(高齢の方も利用しやすい方法は要検討)
3	スポーツ・文化・生涯学習	学校をカルチャースクールに活用(有料・無料)、(子ども向け、大人向け)
4	都市計画・居住環境	マンションとお店の複合施設

○「行政主体」& すぐに見える

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	無償ではなく活動者に補助を出す(有償ボランティア PTA、町会等)
	地域の拠点づくり	拠点を核としてのサテライト施設の整備(さまざまな活用拠点とする)
		情報
2	見守り・支え合い	ボランティアしやすくなる仕組みづくり(ポイント制の導入など)
3	子ども・子育て	地域の差のない子どもの居場所・時間・費用の確保
	学校・教育	学校の整備(複合施設)、いずみの森と同じように
5	企業	業者と地域、PTA等のマッチング
	雇用・就労	育児をする親の働く時間を短くする(例)午前中、15時まで
6	自然・環境	遊歩道の整備(浅川、川口川)

○「行政主体」& 時間がかかる

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育て世代の地域活動への参加(助成)
	行政運営	職員の人事異動を減らす
2	高齢者	高齢者の困り事について助けになる情報をテレビで発信する
3	子ども・子育て	子育てにかかる費用負担の軽減
4	交通インフラ	移動支援、全世代対象(とりわけ喫緊は高齢者)
		交通の利便性を上げる(バス、タクシー、電車、モノレール)、病院/学校/買い物
5	企業(誘致、支援、連携)	空き家と通信網を整備し、大学からの起業家を誘致・サポートする(補助金含む)
		スーパー、病院の誘致

校区の特徴

- 「すぐに見えること」が多く挙げられ、住民主体で地域の課題解決に取り組む意向が強い
- 特に、地域コミュニティの育成や、多様な立場の人たちの交流・助け合いを重視している
- 既存施設の活用や、複合化・拠点化への期待が高い
- 交通インフラの整備は長年に渡る地域課題である